

公益社団法人全日本広告連盟

平成30年度 事業報告書

自：平成30年 4 月 1 日

至：平成31年 3 月31日

I．主な活動

II．組織状況

III．業務執行体制等

平成30年度事業報告

公益社団法人全日本広告連盟（全広連）は、事務局業務全般を正会員の中核である公益社団法人東京広告協会に委託し運営を進め、平成30年度事業活動を8ブロック会議において検討、理事会の承認を経て、全国37広告協会の支援・協力のもと全面的な公益事業の実施を見据えつつ、以下の事業活動を推進した。

I. 主な活動

1. 講座・シンポジウム・全国大会等（定款第4条第1項）

(1) 第29回（平成30年度）全広連夏期広告大学

第29回全広連夏期広告大学は、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、岡山市（平成30年7月12日・岡山広告協会）、富山市（同25日・富山広告協会）、大阪市（同31日・大阪広告協会）、京都市（8月2日・京都広告協会）、青森市（同30日・青森広告協会）の5地区で開催地広告協会との共催により開催した。

平成30年度より、共催広告協会のニーズとの適合、共催広告協会が活性化するための機会提供、デジタルシフトへの対応等をより重視することとして、共催広告協会の意に合うよう内容を協会ごとそれぞれ個別に設定し構築する形式へと改変した。各地区のテーマとして、岡山市は「メディア×広告～地域価値を高める新たな発信方法～」、富山市は「エネルギーな地域活性化の仕掛け人たち～ひとが、熱量が、地域を動かす～」、大阪市は「第二の開国～大交流時代に向き合う～」、京都市は「文化首都・京都の、創造的コミュニケーション力」、青森市は「地域発の広告・メディアビジネスの未来を考え、共創の芽を育てる」を設定、各協会の会員をはじめ一般、学生の参加者は5地区で述べ597名を数えた。

(2) 第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム

11回目を迎えた全広連秋のシンポジウムは、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、開催地広告協会との共催により平成30年11月7日・長崎市（長崎広告協会）、平成31年1月16日・名古屋市（愛知広告協会）、同29日・郡山市（福島広告協会）の3地区で開催した。

平成30年度より、夏期広告大学と同様に共催広告協会の意向に沿って個別に内容を構築する形式に改変し、長崎市が「インバウンドの可能性、長崎の未来を考える」、名古屋市が「デジタルトランスフォーメーション～ソリューションプランニングのこれから～」、郡山市が「これからの地域創生に、私たちが出来ること」をテーマとして各地区の講師2～3名による個

別プレゼンテーション及びトークセッションを実施、各地域の協会会員をはじめ学生や一般から延べ330名の参加があった。

(3) 第66回全日本広告連盟秋田大会

第66回全日本広告連盟秋田大会は平成30年5月16日と17日の2日間、大会テーマ「ここからはじまる 確かな鼓動 〜あっきた！広告新時代〜」のもと秋田市の秋田県民会館を主会場に開催し、全国から一般も含め約1,500名の広告関係者が参集した。

5月16日開催の大会式典は船木保美秋田大会実行委員長の開会宣言で幕を開け、小笠原直樹大会会長の歓迎挨拶、大平明全広連理事長の大会挨拶に続き、来賓の佐竹敬久秋田県知事、石井周悦秋田市副市長からそれぞれ祝辞が述べられた後、全広連の概要並びに事業をまとめた映像「全広連の一年」を上映し、平成29年度の活動を紹介した。

次に全広連顕彰の贈呈式に移り、第12回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞を㈱新潟日報社に贈呈し、代表して㈱新潟日報社読者局次長兼ふれあい事業部長・阿曾晋氏から受賞の言葉が述べられた。

引き続き第12回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞最優秀賞を㈱寛文五年堂に、同優秀賞を㈱平安閣に贈呈し、代表して㈱寛文五年堂代表取締役・佐藤君蔵氏から受賞の言葉が述べられた。

次いで、事業構想大学院大学学長、㈱宣伝会議取締役メディア・情報統括の田中里沙氏をコーディネーターに、㈱秋田銀行取締役頭取・新谷明弘氏、KDDI㈱代表取締役会長・田中孝司氏、ヤフー㈱常務執行役員メディアカンパニー長・宮澤弦氏、㈱電通代表取締役社長執行役員・山本敏博氏のパネリスト4氏によるパネルディスカッション「広告の未来、地域の未来」を実施した。

昼食を挟み午後からは、全広連顕彰である第6回全広連日本宣伝賞の贈呈式を行い、松下賞をKDDI㈱代表取締役会長の田中孝司氏、正力賞を作詞家・プロデューサーの秋元康氏、吉田賞を㈱ドリルエグゼクティブ・アドバイザーの鏡明氏、山名賞をクリエイティブディレクターの佐々木宏氏に贈呈、各受賞者より謝辞が述べられた。

続いて、「広告が拓く人と人との出会い—地方創生は人から」と題した東京大学名誉教授・姜尚中氏による記念講演を実施した。

最後に、次回第67回全広連富山大会の開催地紹介が行われ、同大会組織委員会大会長・高木繁雄氏から挨拶が述べられた。

2. 広告倫理等普及啓発（定款第4条第2項）

(1) 第12回（平成30年）全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞の贈呈

広告活動の発展のため、斬新な広告企画や大きな成果をあげた広告キャンペーン等を実施した会員社などを顕彰する第12回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞は、9協会14作品

の応募の中から「地域包括ケアネット ささえ〜る+」新潟・認知症啓発キャンペーン『つなぐ広げる オレンジの輪』を実施した(株)新潟日報社（新潟広告協会応募）を選出し、平成30年5月16日に開催した第66回全広連秋田大会の式典席上で贈呈した。

(2) 第12回（平成30年）全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞の贈呈

地域のクリエイティブ活動の発展・向上を図るため、各地広告協会が推薦する優秀なクリエイティブ作品の広告主企業を顕彰する第12回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞は、17協会推薦による41作品の応募の中から最優秀賞に秋田広告協会推薦の(株)寛文五年堂による「“人物に迫るヒューマンストーリー最終章” 一流の源泉『わが心のルーツを辿る旅へ』」（新聞広告）を、優秀賞に愛知広告協会推薦の(株)平安閣による結婚式場マリエール「#結婚はじめました」（テレビCM）を選出し、平成30年5月16日に開催した第66回全広連秋田大会の式典席上で贈呈した。

(3) 第6回（平成30年）全広連日本宣伝賞の贈呈

広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与した功績を顕彰する第6回全広連日本宣伝賞は、広告主を対象とする「松下賞」に田中孝司氏（KDDI(株)代表取締役会長）を、媒体社・メディア関係会社及びイベント・コンテンツのプロデューサーを対象とする「正力賞」に秋元康氏（作詞家・プロデューサー）を、広告関連会社を対象とする「吉田賞」に鏡明氏（(株)ドリルエグゼクティブ・アドバイザー）を、クリエイターを対象とする「山名賞」に佐々木宏氏（クリエイティブディレクター）を選出し、平成30年5月16日に開催した第66回全広連秋田大会の式典席上で贈呈した。

なお、第6回全広連日本宣伝賞選考委員会が受賞者を選考するにあたり、各賞の候補者について正会員である各地広告協会を通じ広く推薦を募ったほか、「山名賞」はその専門性に鑑み「選考準備委員会」で事前選考を専門家により行い佐々木宏氏を選出、「第6回全広連日本宣伝賞選考委員会」に上程し授賞を決定した。

3. 支援助成（定款第4条第3項）

(1) 助成金支給

広告に関する学問研究の発展のため日本広告学会の活動の費用を助成したほか、全広連助成金については各地域社会への貢献を目的とする公益目的事業の費用の一部として平成29年度中に8ブロック会議で支給額をまとめ、理事会の承認を得て、申請のあった7協会に支給した。

(2) 各地広告協会主催セミナー・講演会への講師派遣

各地広告協会の活動を支援するため、各地からのセミナー・講演会等への講師要請に応え、

10協会13事業に講師を手配、派遣した。

①鹿児島広告協会

「第43回鹿児島広告協会賞 記念講演会」＜※平成30年度助成金支給対象事業＞

平成30年4月26日、於・鹿児島市／ホテル・レクストン鹿児島（参加者100名）

演 題 「ローカルからグローバルへ」

講 師 橋通仁氏（㈱電通中部支社クリエイティブディレクター／アートディレクター）

②横浜広告協会

「総会記念講演会」

平成30年6月6日、於・横浜市／崎陽軒本店（参加者57名）

演 題 「逆境は『アイデア』に変わる～各メディアをどうやって武器にするか～」

講 師 河西智彦氏（㈱博報堂クリエイティブディレクター）

③福井広告協会

「総会記念講演会」

平成30年6月12日、於・福井市／福井商工会議所（参加者80名）

演 題 「味の素株式会社のスポーツ支援活動と企業コミュニケーション」

講 師 片上崇氏（味の素㈱広告部長兼オリンピック・パラリンピック推進室長）

④静岡県広告協会

「2018年度広告講座」

平成30年9月11日、於・静岡市／江崎ホール（参加者91名）

演 題 「アホがつくる街と広告」

講 師 日下慶太氏（㈱電通関西支社コピーライター）

⑤静岡県広告協会

「2018年度広告講座」

平成30年9月12日、於・沼津市／プラサ ヴェルデ（参加者51名）

演 題 「アホがつくる街と広告」

講 師 日下慶太氏（㈱電通関西支社コピーライター）

⑥香川広告協会

「広告研究会」

平成30年10月19日、於・高松市／レクザムホール（参加者100名）

演 題 「香川はクリエイティブでもっと活きる～ファンづくり起点のコミュニケーションデザイン～」

講 師 田中淳一氏（㈱POPSクリエイティブディレクター）

⑦秋田広告協会

「協会創立50周年記念 秋田広告セミナー2018」＜※平成30年度助成金支給対象事業＞

平成30年10月22日、於・秋田市／イヤタカ（参加者100名）

テーマ 「地域におけるクリエイティビティができること」

演題① 「クリエイティブが地域にできることを考えてみる。」

講 師 鏡明氏（㈱ドリルエグゼクティブ・アドバイザー）

演題② 「ネガティブをポジティブに変換するクリエイティブ」

講 師 橋通仁氏（㈱電通中部支社クリエイティブディレクター／アートディレクター）

⑧愛媛広告協会

「愛媛広告ゼミナール」

平成30年11月29日、於・松山市／東京第一ホテル松山（参加者120名）

テーマ 「地域創生の新しい考え方 プレイス・ブランディング」

演題① 『プレイス・ブランディング』の考え方と事例紹介」

講師 若林宏保氏（㈱電通クリエイティブディレクター）

演題② 『プレイス・ブランディング』の実践と発想法」

講師 佐藤真木氏（㈱電通コミュニケーション・プランナー）

⑨徳島広告協会

「新春合同例会」

平成31年1月28日、於・徳島市／徳島グランヴィリオホテル（参加者80名）

演題 「徳島はクリエイティブでもっと活きる～ファンづくり発想のコミュニケーションデザイン～」

講師 田中淳一氏（㈱POPSクリエイティブディレクター）

⑩愛知広告協会

「第6回愛広協実践広告ワークショップ」＜※平成30年度助成金支給対象事業＞

平成31年2月2日・3月2日、於・名古屋市／新東通信名古屋本社（参加者22名）

講師 第一三共ヘルスケア㈱ご担当者

須田和博氏（㈱博報堂エグゼクティブ・クリエイティブディレクター）

橋通仁氏（㈱電通中部支社クリエイティブディレクター／アートディレクター）

⑪山形広告協会

「平成30年度山形広告セミナー」

平成31年2月12日、於・山形市／山形グランドホテル（参加者100名）

演題 「パナソニック宣伝100年から見えた『共感』マーケティングの今」

講師 岡山晃久氏（パナソニック㈱コンシューマーマーケティングジャパン本部コミュニケーション部長）

演題 「これからの地域活性に広告業界がやるべきこと ACCグランプリ『絶メシリスト』（高崎市）の学びから」

講師 日野昌暢氏（㈱博報堂ケトルプロデューサー）

⑫静岡県広告協会

「2018年度広告講座」

平成31年2月20日、於・浜松市／アクトシティ浜松（参加者80名）

演題 「アホが作る街と広告」

講師 日下慶太氏（㈱電通関西支社コピーライター）

⑬静岡県広告協会

「広告研究会」

平成31年2月26日、於・静岡市／江崎ホール（参加者50名）

演題 「今、地域に求められる情報発信力とは？」

講師 倉重宜弘氏（ネイティブ㈱代表取締役）

4. 連絡交流（定款第4条第4項）

(1) 関係官公庁への要望活動

広告課税問題について、全広連をはじめとする広告・報道関係8団体（全広連、日本アドバイザーズ協会、日本新聞協会、日本民間放送連盟、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会、日本屋外広告業団体連合会）で情報を収集・共有したところ、課税に向けた具体的な動きは現状全くないことが分かった。このため、本年は広告・報道関係8団体代

表者が参集しての連絡会議開催は見送り、昨年と同様、情勢を静観しつつ変化が生じた際には各団体間で連携をとり直ちに対応できるよう、引き続き態勢を整えておくことを平成30年8月に決定した。結果として、平成30年度は広告課税反対要望書の提出は見送った。

(2) 関係官公庁への協力活動

下記の諸官庁ならびに広告団体の事業に協力、後援を行った。

- ① 内閣府からの会員への周知依頼に協力
- ② 経済産業省からの各種調査及び会員への周知依頼に協力
- ③ 厚生労働省からの会員への周知依頼に協力
- ④ 国土交通省の「屋外広告物適正化旬間」に協力
- ⑤ 総務省の「体力づくり国民会議」運動に協力
- ⑥ 日本屋外広告業団体連合会の第45回「屋外広告の日」キャンペーンを後援
- ⑦ 日本サイン・デザイン協会の「第52回SDA賞」を後援
- ⑧ 日本広告学会「クリエイティブ・フォーラム2018」を後援

(3) 関係団体との協力、連絡及び交流

広告関係23団体と定期的に会合を開いて情報交換を行ったほか、広告関係28団体とともに「平成31年広告界合同年賀会」を1月8日に開催し、関係団体並びに関係機関との意思疎通及び交流を図った。

(4) アジア太平洋広告祭

2019年3月20日～23日にタイ・パタヤで開催の第22回アジア太平洋広告祭(ADFEST2019)参加に向けた研修ツアーを3月19日～24日、54名の参加者をもって企画・実施したほか、作品応募要項や申し込み等、英文の日本語翻訳に関する協力を行い、全広連ウェブサイトを通じて会員他関係者への便宜に役立てた。

また、同じくタイ・パタヤで3月18日～20日にADFEST2019と併催された30歳以下の広告コンペティション「Young Lotus Workshop (YLW) 2019」に対し、日本代表として派遣する1チーム(2名)を選出するための国内コンペを実施。参加を広く一般に向けて募集した結果144チームの応募を得て、第一次選考を平成31年1月24日、最終選考を2月4日にそれぞれ東京・電通銀座ビル会議室で行った。鏡明氏(㈱ドリル)をはじめとする審査員による選考の結果、近藤まり子氏・小林明日香氏(ビーコンコミュニケーションズ㈱)のチームを選出、YLW2019に派遣した。

1月31日には東京・日本工業倶楽部会館で全広連主催「PreADFEST2019」を実施。前述の国内コンペ・第一次選考の結果発表と表彰セレモニーをメインに、国内コンペ全エントリー作品の展示、審査員による講評、ADFEST2019概要の紹介、及びヤングクリエイターの交流の場として210名が参加した。

なお、昨年度・平成29年度に行われたADFEST2018については、その報告会を4月17日、

東京・電通銀座ビルで日本からの審査員及びYLW2018日本代表チーム等をスピーカーに招いて開催した。

(5) アジア広告会議

アジア広告協会連盟（AFAA）が2019年12月にパキスタン・ラホールで開催予定の「第31回アジア広告会議（AdAsia2019）」に対し協力している。また、2018年11月14日に台湾・台北で開催したAFAAの総会に出席した。

5. 情報発信（定款第4条第5項）

(1) 機関誌「全広連」の発行

全広連活動の報告、各地広告協会活動の紹介、広告界の動向解説等を掲載した機関誌「全広連」の通巻1075号～1080号を隔月刊として奇数月の5日付で発行し、各地37広告協会の会員をはじめ関係団体、諸官庁、図書館、広告関係者や一般に向けて配布した。

(2) WEBサイト

WEBサイトを随時更新し、講座・シンポジウム・全国大会等の開催告知及び参加募集、当連盟概要、機関誌など当連盟の最新情報を公開したほか、正会員である加盟各地37広告協会の情報を掲載し、会員にとどまらず広く一般に向け発信した。

このほか、一般紙及び業界紙（誌）宛にニュースリリースを発信し、事業活動のPRに努めた。

6. 「全広連名鑑」の刊行（定款第4条第6項）

北は北海道から南は沖縄まで、全広連加盟37広告協会の会員名簿「全広連名鑑」の第43巻、平成30年版を刊行した。会員名簿のほか全広連関係資料、広告統計資料、広告関係の公共機関並びに関連団体の所在地などを例年通り掲載した。

7. 総会・理事会・8ブロック会議・事務局長会議

(1) 総会

平成30年度の総会は、次のとおり2回（通常総会1回、臨時総会1回）開催し、いずれの議案も委任出席者を含め満場異議なく（決議の省略においては全正会員一致の同意により）承認した。

i) 第66回通常総会

日時 平成30年5月15日 午後3時30分～4時20分

場所 秋田キャッスルホテル4階「放光の間」(秋田市中通1-3-5)

正会員総数 37広告協会(定足数:19広告協会)

出席正会員数 37広告協会(正会員代表者出席:27広告協会、委任状出席:10広告協会)

出席理事 1名、出席監事 2名

議題 第1号 平成29年度事業報告の件

第2号 平成29年度決算書類承認の件(第1号議案)

第3号 任期満了に伴う次期理事及び監事選任の件(第2号議案)

第4号 平成30年度事業計画及び収支予算の内容報告の件

第5号 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結報告の件

第6号 第67回(平成31・2019年度)全広連大会の概要報告の件

第7号 第69回(平成33・2021年度)全広連大会開催地協会報告の件

第8号 第12回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者報告の件

第9号 第12回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者報告の件

第10号 第6回全広連日本宣伝賞受賞者報告の件

ii) 平成30年度第1回臨時総会(書面による全正会員からの同意に基づくみなし決議)

平成30年9月14日、理事長が正会員(各地37広告協会)全員に対して総会決議の目的事項である下記2議案について提案書及び議案書を発し、10月11日までに正会員の全員から書面により同意する旨の意思表示を得たので、決議の省略の方法により当該提案を承認可決する旨の総会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

第1号議案 理事2名選任の件

第2号議案 監事1名選任の件

(2) 理事会

平成30年度の理事会は次のとおり5回行い、いずれの議案も出席理事全員一致で異議なく(決議の省略においては全理事一致の同意により)承認した。

i) 平成30年度第1回理事会

日時 平成30年4月20日 午後4時～5時

場所 コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル2階「桜」(東京都中央区銀座6-14-10)

理事総数 14名(定足数:8名)

出席理事数 12名、出席監事数 1名

議題 決議事項

第1号議案 平成29年度事業報告及び附属明細書承認の件

第2号議案 平成29年度決算書類承認の件

- 第3号議案 平成30年度補正収支予算承認の件
- 第4号議案 任期満了に伴う次期理事及び監事選任候補者の件
- 第5号議案 第66回通常総会の招集及び付議議案の件
- 第6号議案 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員選任の件
- 第7号議案 第67回（平成31・2019年度）全広連大会開催概要の件
- 第8号議案 夏期広告大学／秋のシンポジウム事業の件
- 第9号議案 第12回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件
- 第10号議案 第12回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者の件
- 第11号議案 鈴木三郎助大賞基金における顕彰費用充当範囲の件

報告事項

1. 職務執行状況の報告
2. 8ブロック会議議長及び副議長選任の報告
3. 平成30年度第2回理事会（5月15日・秋田市）開催の件

ii）平成30年度第2回理事会

日時 平成30年5月15日 午後4時20分～4時25分

場所 秋田キャッスルホテル4階「千秋の間」（秋田市中通1－3－5）

理事総数 13名（定足数：7名）

出席理事数 11名、出席監事数 2名

議題 決議事項

- 第1号議案 理事長選定の件
- 第2号議案 副理事長選定の件
- 第3号議案 筆頭執行理事選定の件
- 第4号議案 執行理事選定の件

iii）平成30年度第3回理事会（書面による全理事からの同意に基づくみなし決議）

平成30年8月29日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記6議案について提案書及び議案書を発し、9月14日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された6議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

- 第1号議案 理事選任候補者の件
- 第2号議案 監事選任候補者の件
- 第3号議案 平成30年度第1回臨時総会の招集及び付議議案の件
- 第4号議案 顧問選任の件
- 第5号議案 ブロック代表者選任の件
- 第6号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会委員選任の件

iv) 平成30年度第4回理事会（書面による全理事からの同意に基づくみなし決議）

平成30年10月11日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記議案について提案書及び議案書を発し、11月5日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

決議の目的事項

第1号議案 副理事長選定の件

v) 平成30年度第5回理事会

日時 平成31年3月12日 午後2時～3時

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

理事総数 13名（定足数：7名）

出席理事数 9名、出席監事数 1名

議題 決議事項

第1号議案 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結の件

第2号議案 平成31年度全広連助成金支給の件

第3号議案 平成31年度事業計画書承認の件

第4号議案 平成31年度収支予算書等承認の件

第5号議案 ブロック代表者選任の件

第6号議案 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員選任の件

第7号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会次期委員選任の件

第8号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件

第9号議案 「印章管理規程」一部改正の件

第10号議案 「国内出張旅費規程」一部改正の件

第11号議案 「海外出張旅費規程」一部改正の件

報告事項

(1) 顧問辞任の報告

(2) 職務執行状況の報告

① 理事長出席状況

② 活動記録

③ 第29回（平成30年度）全広連夏期広告大学

④ 第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム

⑤ 平成31年度税制・広告課税問題への対応

⑥ 第7回全広連日本宣伝賞受賞者

⑦ 広告関係29団体共催 平成31年広告界合同年賀会

⑧ 海外関係

(3) 次回全広連理事会（4月19日）の件

(3) 8ブロック会議

平成30年度の8ブロック会議は次のとおり4回開催し、審議事項をいずれも代理出席者を含めた各ブロック代表者全員一致で異議なく了承した。

i) 第1回

日時 平成30年4月11日 午後2時～4時30分

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. 8ブロック会議議長並びに副議長の選任
 2. 平成29年度事業報告の件
 3. 平成29年度決算の件
 4. 平成30年度補正収支予算の件
 5. 任期満了に伴う次期理事及び監事候補者の件
 6. 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員交代の件
 7. 第67回（平成31・2019年度）全広連大会開催概要の件
 8. 第12回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件
 9. 鈴木三郎助大賞基金における顕彰費用充当範囲の件
 10. 平成30年度第1回理事会開催の件
 11. 平成30年度第2回理事会開催の件
 12. 全広連会費・新算出方式、並びに財政状況改善に向けた方策検討の件
- 報告事項
13. 事務所賃借料負担割合等見直しの件
 14. 第29回（平成30年度）全広連夏期広告大学
 15. 第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム
 16. 海外関係

ii) 第2回

日時 平成30年8月27日 午後2時～4時40分

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. ブロック代表者交代の件
2. 理事・監事交代の件
3. 顧問交代の件
4. 全広連日本宣伝賞選考委員会委員交代の件
5. 平成30年度第3回理事会（みなし決議）実施の件
6. 平成30年度第4回理事会（みなし決議）実施の件
7. 「全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」応募要項一部改定の件
8. 今後の「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」について

9. 全広連会費・新算出方式検討の件

10. 次回8ブロック会議の件

報告事項

① ADFEST2018報告会

② 第66回全日本広告連盟秋田大会

③ 第29回（平成30年度）全広連夏期広告大学

④ 平成31年度税制・広告課税問題への対応

⑤ 第110回全広連全国事務局長会議

⑥ 第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム

⑦ その他

iii) 第3回

日時 平成30年10月15日 午後2時～5時

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. 全広連会費・新算出方式検討の件

2. 全広連事業見直しの件

3. 「助成金規程」一部改正の件

4. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件

iv) 第4回

日時 平成31年2月28日 午後2時～5時

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. 「事務局業務委託契約書」一部改正の件

2. 平成31年度全広連助成金支給の件

3. 平成31年度事業計画の件

4. 平成31年度収支予算の件

5. ブロック代表者交代の件

6. 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員交代の件

7. 全広連日本宣伝賞選考委員会・次期委員の件

8. 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件（全広連会費・新算出方式）

9. 「印章管理規程」一部改正の件

10. 「国内出張旅費規程」一部改正の件

11. 「海外出張旅費規程」一部改正の件

12. 平成30年度第5回理事会開催の件

13. 今後の全広連事業活動についての件

14. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件

報告事項

- ① 顧問の辞任
- ② 内閣府・公益認定等委員会による立入検査
- ③ 第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム
- ④ 第7回全広連日本宣伝賞受賞者
- ⑤ 第22回アジア太平洋広告祭（ADFEST2019）
- ⑥ Young Lotus Workshop2019国内選考及びPreADFEST2019
- ⑦ 広告関係29団体共催 平成31年広告界合同年賀会
- ⑧ 平成30年度全広連事業活動記録

(4) 全国事務局長会議

平成30年度の事務局長会議は、次のとおり 2 回開催した。

i) 第109回全国事務局長会議

日時 平成30年4月20日 午後0時25分～2時

場所 コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル2階「桜」（東京都中央区銀座6-14-10）

- 議事
1. 平成30年度第1回理事会承認事項の件
 2. 平成30年度事業計画及び収支予算
 3. 8ブロック会議報告
 4. 平成29年度第3回及び第4回理事会結果報告
 5. 第66回通常総会の件
 6. 第66回全広連秋田大会について秋田広告協会より報告
 7. 第71回以降の全広連大会開催地の件
 8. 全広連「賛助会員」の件
 9. 平成30年度全広連助成金の件
 10. 第12回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」贈呈の件
 11. 全広連会費・新算出方式、並びに財政状況改善に向けた方策検討の件
 12. 第6回「全広連日本宣伝賞」贈呈の件
 13. 第29回（平成30年度）全広連夏期広告大学開催、第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム開催の件
 14. 各地広告協会への支援事業報告
 15. 海外関係
 16. 次回全国事務局長会議の件
 17. その他

ii) 第110回全国事務局長会議

日時 平成30年10月26日 午後0時20分～2時30分

場所 ANAクラウンプラザホテル富山 3階「鳳」（富山県富山市大手町2-3）

- 議事
1. 第66回全日本広告連盟秋田大会総括報告
 2. 第67回全日本広告連盟富山大会の概要説明
 3. 8ブロック会議開催報告
 4. 平成30年度理事会結果報告
 5. 平成30年度第1回臨時総会結果報告
 6. 全広連第67回通常総会日程の件
 7. 全広連「賛助会員」の件
 8. 全広連会費・新算出方式の件
 9. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
 10. 第71回（2023年）以降の全広連大会開催地協会の件
 11. 第29回（平成30年度）全広連夏期広告大学の報告と第30回（平成31年度）開催協会立候補要請の件
 12. 第11回（平成30年度）全広連秋のシンポジウム開催概要の報告と第12回（平成31年度）開催協会立候補要請の件
 13. 全広連「助成金」の件
 14. 支援助成事業の実施報告の件
 15. 平成31年度税制・広告課税問題への対応の件
 16. 第7回「全広連日本宣伝賞」各賞候補者推薦の件
 17. 内閣府・公益認定等委員会による立入検査の件
 18. 全広連ウェブサイト掲載用・各地広告協会情報更新への協力をお願い
 19. 国際関係活動の件

Ⅱ．組織状況

平成30年度 役員一覧（敬称略・順不同）

※平成31年3月31日現在

理 事 長	大 平 明	（公社）東京広告協会理事長	東京・沖縄ブロック
副理事長	太 田 聡	秋田広告協会副理事長	第66回大会開催地協会
〃	忠 田 憲 美	富山広告協会理事長	第67回大会開催地協会
筆頭執行理事	長 崎 之 保	（公社）東京広告協会専務理事	東京・沖縄ブロック
執行理事	中 井 良 博	（公社）東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック
理 事	岩 渕 真 幸	岩手広告協会理事長	北海道・東北ブロック
〃	片 上 崇	（公社）東京広告協会理事	東京・沖縄ブロック
〃	石 田 一 西	（一社）長野県広告協会理事長	関東・甲信越ブロック
〃	吉 田 真 士	福井広告協会理事長	中部・東海・北陸ブロック
〃	鈴 鹿 且 久	京都広告協会理事長	近畿ブロック
〃	木 原 慎 二	広島広告協会理事長	中国ブロック
〃	寺 嶋 隆 五	香川広告協会理事長	四国ブロック
〃	西 山 治 宏	福岡広告協会理事長	九州ブロック
監 事	龍 宝 正 峰	（公社）東京広告協会監事	東京・沖縄ブロック
〃	神 崎 美 雄	広島広告協会事務局長	中国ブロック

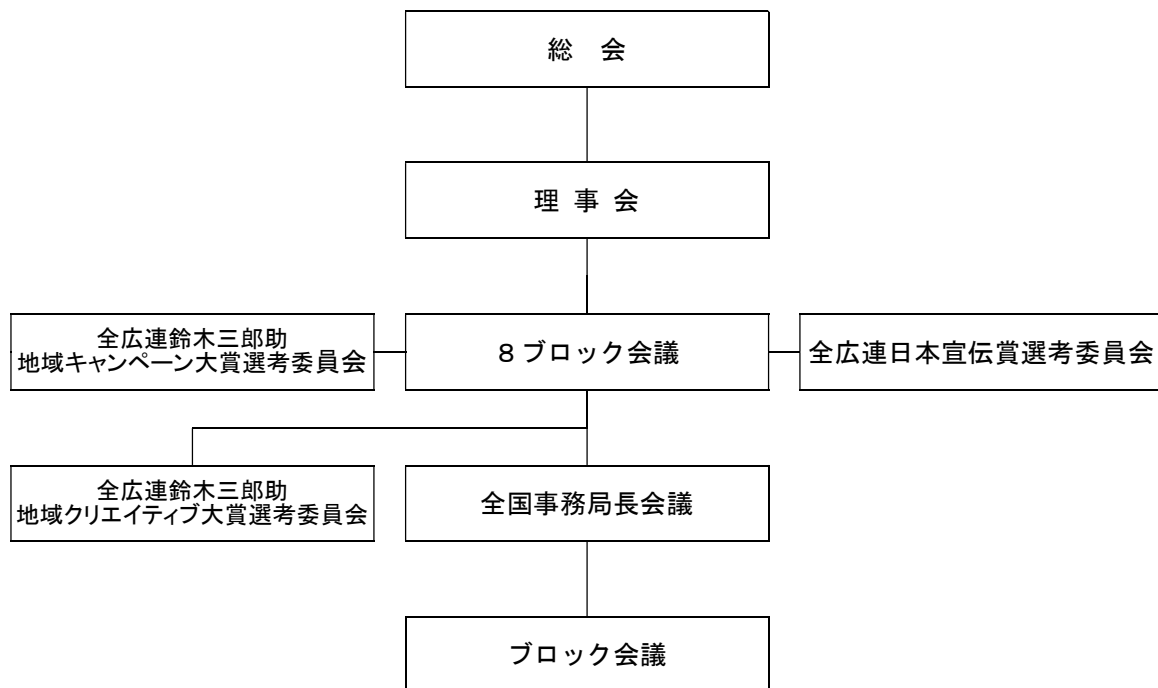
平成30年度 8 ブロック代表者一覧 (敬称略・順不同)

※平成31年 3 月31日現在

(全広連 8 ブロック会議)

議 長	神 崎 美 雄	広島広告協会事務局長	中国ブロック代表
副議長	中 井 良 博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック代表
	松 尾 尚 人	岩手広告協会事務局長	北海道・東北ブロック代表
	斎 藤 等	横浜広告協会事務局長	関東・甲信越ブロック代表
	滝 本 光 男	福井広告協会事務局長	中部・東海・北陸ブロック代表
	阿 江 淳	(公社)大阪広告協会事務局長	近畿ブロック代表
	櫛 橋 修	香川広告協会理事・事務局長	四国ブロック代表
	河 口 悦 生	福岡広告協会事務局長	九州ブロック代表
	長 崎 之 保	(公社)全日本広告連盟筆頭執行理事	

公益社団法人全日本広告連盟 組織図



Ⅲ．業務執行体制等

平成30年度は、「内部統制システム整備に関する基本方針」に基づき、法人業務の適正を確保するため「リスク管理規程」の運用状況について監査を行った。

公益社団法人全日本広告連盟 内部統制システム整備に関する基本方針

平成26年11月17日 制 定

平成27年11月11日 改 正

- 1 理事・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制（一般法人法90条4項5号、同法施行規則14条4号）
 - (1) コンプライアンス体制の基礎として、倫理規程、公益通報者保護規程等の規程を定め、職員（事務局業務を委託している公益社団法人東京広告協会の職員を指す。以下同じ。）相互間の適切な監督体制を創設する。
 - (2) 理事が他の理事の法令・定款違反行為を発見した場合は、直ちに監事に報告するなどガバナンス体制を強化する。
 - (3) 職員の法令・定款違反行為については、公益社団法人東京広告協会に対してその就業規則に従って処分を行うことを求める。
 - (4) 監事は、監事監査規程に基づき、理事会への出席、業務執行状況の調査などを通じ、理事の職務執行の監査を行う。
- 2 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制（一般法人法施行規則14条1号）
 - (1) 理事は、社員総会、理事会その他重要な会議の議事録を、法令及び関係規程に従い作成し、適切に保存・管理する。
 - (2) 理事長及び業務執行理事は、法令に従い自己の職務の執行状況を理事会に報告する。
 - (3) 理事は、文書管理規程に従い、法人の事業運営及び業務執行に関わる重要な情報、決定事項、内部規程・規則等は適切に保存し、管理する。
 - (4) 理事及び監事は、いつでもこれらの情報を閲覧又は謄写することができる。
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制（一般法人法施行規則14条2号）
 - (1) リスク管理体制の基礎として、リスク管理規程を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築する。
 - (2) 不測の事態が発生した場合には、危機管理を所掌する組織として、理事長を本部長とする対策室を設置し、損害の拡大を防止しこれを最小限に止める体制を整える。
- 4 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条3号）
 - (1) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、定例

理事会を原則年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催する。

(2) 理事会の決定に基づく業務執行については、諸規程において、それぞれの責任者及びその権限、執行手続について定める。

(3) 理事は、必要な資源の配分の決定又は見直しを行い、効率的な運営を確保する。

5 監事の職務を補助すべき使用人に関する体制、当該使用人の理事からの独立性に関する事項及び監事の当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項（一般法人法施行規則14条5号、6号、7号）

(1) 監事がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めたときは、当法人は職員から、監事補助者を任命するものとする。

(2) 当該職員は、職務執行に当たっては監事の指揮命令を受け、理事の指揮命令を受けない。

(3) 当該職員の人事評価・異動・懲戒については当法人の監事の事前同意を得た上で、機関決定し、理事からの独立性を確保する。

(4) 監事補助者は、業務の執行にかかる役職を兼務しないこととする。

6 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項（一般法人法施行規則14条10号）

(1) 監事の職務の執行について生ずる費用について、前払又は償還を求められた際には、必要な見積書又は証憑の提示を求め、会計処理規程に別に定める手続にしたがって処理することとする。その他の監事の職務の執行について生ずる費用又は債務の処理についても、これに準じることとする。

7 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制、当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制及び監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条8号、9号、11号）

(1) 理事及び使用人は当法人の業務又は業績に影響を与える重要な事項について監事にその都度報告する。前記にかかわらず、監事は、いつでも必要に応じて、理事及び使用人に対して報告を求めることができる。

(2) 理事は、公益通報者保護規程を定め、その適切な運用を維持することにより、法令違反その他コンプライアンス上の問題について、監事への適切な報告体制を確保する。

(3) 監事は、必要に応じて、理事会その他の重要な会議に出席し、当法人の業務執行に関する報告を受けることができる。

(4) 監査を実効的に行うために、理事長との間で適宜に意見交換を行う。

（平成26年11月17日 理事会決議）

（平成27年11月11日 理事会決議）

附属明細書

重要な事項はすべて事業報告に記載した。